

みんなで話そう

新型出生前診断はだれのため？

2019年8月11日 緊急シンポジウムの記録

東京集会実行委員会編集

目次	
はじめに	……P 1
第1章 出生前診断をめぐる現状	……P 2
利光恵子（立命館大学生存学研究所客員研究員）	
1) 出生前診断の登場と導入をめぐる論争	
2) 新たな局面 網羅的な遺伝学的検査の時代	
3) まとめ	
第2章 寄り添うサポートを目指して	……P 1 1
林伸彦（産婦人科医）	
1) 産婦人科診療の中での葛藤	
2) 胎児医療について	
3) まとめ	
4) NPO 法人親子の未来を支える会の活動	
第3章 選べなかった命 善悪の先にあるものは	……P 1 9
河合香織（ノンフィクション作家）	
1) 私の出産	
2) 出生前診断の誤診による損害賠償訴訟	
3) 日本初の『Wrongful life 訴訟』	
4) 本当の意味での自己決定	
5) 善悪の先にあるもの	
質疑・意見	……P 2 2
第4章 会場からの発言	……P 2 5
菅野 摂子（立教大学社会福祉研究所）	
山本奈緒子（神経筋疾患ネットワーク）	
藤原久美子（DPI 女性障害者ネットワーク）	
二階堂祐子（「ハイリスク」な女の声をとどける会）	
大橋由香子（SOSHIREN 女（わたし）のからだから）	
佐々木和子（京都ダウン症児を育てる親の会）	
第5章 当日配布資料の各団体からの意見書、声明文	……P 3 3
I 新型出生前診断(NIPT) の拡大実施に反対する意見書	
グループ生殖医療と差別（旧「優生思想を闘うネットワーク」）	
II 出生前診断に対する DPI 女性障害者ネットワークの意見	
DPI 女性障害者ネットワーク	
III 私たちは「障害を理由に命を選別する出生前診断」に反対し、新型出生前診断の施設	
拡大に強く抗議いたします	

京都ダウン症児を育てる親の会

IV 「NIPT（新型出生前診断）実施施設の要求緩和」に反対する声明文  
神経筋疾患ネットワーク

V 着床前診断対象者拡大に対する抗議文  
神経筋疾患ネットワーク

VI 母体血を用いた出生前遺伝学的検査の導入に当たっての意見書  
『ハイリスク』な女の声をとどける会

VII ゲノム編集と出生前診断に関する声明文  
ゲノム編集及び、出生前診断に反対する市民団体

付録 .....P 5 3

- ・付録1 国内での新型出生前診断（NIPT）に関する動き（年表）
- ・付録2 「出生前診断に関する検討会」設置に関する要望書
- ・付録3 共催団体の紹介

あとがき .....P 6 3